

武田邦太郎関係文書目録

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」

(<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>)

凡例

- 整理にあたっては「書簡の部」と「書類の部」に大別した。
- 書簡のうち、石原莞爾宛・武田邦太郎宛書簡は冒頭に配置し、宛先がそれ以外の書簡は、宛先別・発信人別に五十音順に配列した。また同一宛先・発信者内では年代順を原則とした。ただし、年代不明の書簡については、この限りではない。
- 書類は主題別・年代順の配列を原則とした。
- 書類の標題は、原文書にあるものはそれに従い、欠題のものは内容によりこれを補った。
- 書簡と書類の一部には、内容摘記を付したが、摘記は必ずしも原文どおりの引用ではなく 文言に適宜変更や補足を加えた。
- 目録作成者が推定・補足した部分に関しては〔 〕によってこれを区別した。

目録の作成に当たっては、野村乙二郎氏の協力を得た。

目次

武田邦太郎関係文書

書簡の部

- 石原莞爾宛書簡
- 武田邦太郎宛書簡
- その他書簡
- 書簡草稿
- 宛先不明書簡

書類の部

- 新日本の進路
- 精華会・宗教
 - 法務庁との交渉関係
- その他

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
書簡の部					
石原莞爾宛書簡					
1	阿部養之助書簡	阿部養之助	石原莞爾	昭和24年8月5日	数量 1通 内容 電報への返信できず申し訳ない事態、農事手放せず訪問不可能。 記述法 ペン
2	荒井翠書簡	荒井翠	石原莞爾	昭和23年1月2日	数量 1通 内容 年賀状、1月1日に7名で熱塩精華会の発会。 記述法 ペン 備考 葉書
3	石井久巳書簡	石井久巳	石原莞爾	昭和23年3月2日	数量 1通 内容 埼玉・南古谷村精華会活動報告、2月に高木清寿先生来訪。 記述法 ペン
4	井田長正書簡【一括】				
4-1	井田長正書簡	井田長正（志摩精華会）	石原莞爾	昭和23年8月16日	数量 1通 内容 精華会にても日蓮主義運動を展開、精華会活動への決意。 記述法 墨書
4-2	井田長正書簡	井田長正	石原莞爾	昭和23年9月30日	数量 1通 内容 精華会研究会のため各村巡回、布教活動進展。 記述法 ペン
4-3	井田長正書簡	井田長正（日東精華会）	石原莞爾	昭和24年4月3日	数量 1通 内容 精華会活動への決意。 記述法 ペン 備考 葉書
5	伊地知清彦書簡	伊地知清彦	石原莞爾	昭和23年9月26日	数量 1通 内容 清孝帰農に際しご祝儀感謝。 記述法 ペン
6	伊藤重雄書簡【一括】				
6-1	伊藤重雄書簡	伊藤重雄	石原莞爾	〔昭和22年カ〕9月24日	数量 1通 内容 水害報告、精華会の講習会も延期、武田先生御迎えするには時期尚早。 記述法 ペン
6-2	伊藤重雄書簡	伊藤重雄	石原莞爾	〔昭和23年〕9月17日	数量 1通 内容 積善会の責任者、日蓮宗の僧侶辞退し、伊藤留任。治水事情報告。 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
6-3	伊藤重雄書簡	伊藤重雄	石原莞爾	〔昭和23年〕10月7日	数量 1通 内容 水害報告。 記述法 墨書
6-4	伊藤重雄書簡	伊藤重雄	石原莞爾	〔昭和23年10月〕	数量 1通 内容 水害復興会議主催の大公聴会開催。 記述法 墨書
7	稲垣志行書簡	稲垣志行	石原莞爾・錦	昭和23年9月17日	数量 1通 内容 黒崎農場は恵まれた環境。 記述法 ペン 備考 葉書
8	井上正書簡	井上正	石原莞爾	昭和22年9月8日	数量 1通 内容 近況報告。 記述法 ペン 備考 葉書
9	入江辰雄書簡【一括】				
9-1	入江辰雄書簡	入江辰雄	石原莞爾	昭和23年1月10日	数量 1通 内容 大久保町に転居。 記述法 ペン 備考 封緘葉書
9-2	入江辰雄書簡	入江辰雄（池本農場）	石原莞爾	〔昭和23年カ〕5月4日	数量 1通 内容 武田先生よりご依頼のマンジュシヤゲ送付。 記述法 ペン 備考 葉書
10	岩崎正美書簡	岩崎正美	石原莞爾	昭和22年10月19日	数量 1通 内容 西山訪問時のご厚情感謝、閣下の御静養御快癒祈る。 記述法 ペン 備考 封緘葉書
11	岩村博文書簡【一括】				
11-1	岩村博文書簡	岩村博文	石原莞爾	昭和24年1月14日	数量 1通 内容 精華会運動に邁進の決意、2月中旬西山農場入り。 記述法 ペン
11-2	岩村博文書簡	岩村博文	石原莞爾	昭和24年2月8日	数量 1通 内容 創価会との法戦。 記述法 ペン 備考 封緘葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
12	上田太郎書簡	上田太郎	石原莞爾	昭和23年10月14日	数量 1通 内容 口代、新価値の発見、旧価値の連結。 記述法 ペン 用紙 高知県立城東中学校罫紙
13	及川アサヨ書簡【一括】				
13-1	及川アサヨ書簡	及川アサヨ	石原莞爾	〔昭和22年〕1月2日	数量 1通 内容 父永眠。 記述法 ペン
13-2	及川アサヨ書簡	及川アサヨ	石原莞爾	昭和23年1月1日	数量 1通 内容 祖母永眠。 記述法 ペン
14	大場信夫書簡	大場信夫（浅野精華会）	石原莞爾	昭和24年3月3日	数量 1通 内容 浅野精華会結成報告。 付属資料 (1)浅野精華会々員名簿（大場信夫）、1枚／(2)『浅野精華会』結成式要旨（浅野精華会、ペン）、2枚 記述法 ペン
15	小野勝誠書簡	小野勝誠（黒崎農場）	石原莞爾	昭和22年7月25日	数量 1通 内容 在西山中、種種御教訓感謝。 記述法 ペン
16	小野寺茂雄書簡	小野寺茂雄	石原莞爾	昭和22年5月1日	数量 1通 内容 精華会会合への御礼、御話感謝。 記述法 ペン
17	小野寺正人書簡【一括】				
17-1	小野寺正人書簡	小野寺正人	石原莞爾	昭和22年10月2日	数量 1通 内容 仙台からの帰途小厩の峠にて靈感体験、石原歓迎館計画。 記述法 ペン
17-2	小野寺正人書簡	小野寺正人	石原莞爾	昭和23年1月6日	数量 1通 内容 本吉郡の支部分会近況。 記述法 ペン
18	小野元士書簡【一括】				
18-1	小野元士書簡	小野元士	石原莞爾	昭和22年11月23日	数量 1通 内容 農工一体は新日本建設の基本的な原則、農工一体経営の事例紹介。 記述法 ペン 用紙 運輸調査局原稿用紙

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
18-2	小野元士書簡	小野元士	石原莞爾	〔昭和23年〕10月30日	数量 1通 内容 国土構造要綱・最近我国の主食供給量数字同封、御教示賜り度い。 付属資料 (1)国土構造要綱(第二次試案)(昭和23年9月30日、ペン、南満洲鉄道株式会社東京支社)、1綴(14枚) / (2)付表「第一表 主食供給量概数」「第二表 主食消費量推定数」(謄写、昭和23年8月26日)、1枚 記述法 ペン
18-3	小野元士書簡	小野元士	石原莞爾	2月28日	数量 1通 内容 農工一体の手段、長野県南佐久郡小海郡農業協同組合概況。 記述法 ペン 用紙 運輸調査局原稿用紙
19	桂二郎書簡	桂二郎	石原莞爾	昭和24年1月15日	数量 1通 内容 津軽御来光感謝、今度忽然として宇宙の靈悟に触れた如き感。 記述法 ペン
20	金川孝書簡	金川孝	石原莞爾	昭和23年4月13日	数量 1通 内容 北大経済学部修学中、学問上宗教上今後宜敷く御指導被下度。 記述法 墨書 備考 葉書
21	精華会関東地区協議会書簡【一括】				
21-1	精華会関東地区協議会書簡	精華会関東地区協議会	石原莞爾	昭和22年7月8日	数量 1通 内容 第一回関東地区協議会開催報告、村造り運動。 付属資料 〔第一回精華会関東地区協議会参加者寄書〕(昭和22年7月8日、墨書)、2枚 記述法 ペン
21-2	関東地区精華会書簡	関東地区精華会	石原莞爾	昭和22年8月17日	数量 1通 内容 関東地区精華会第二回協議会参加者寄せ書き。 記述法 ペン 備考 葉書
22	木戸信子書簡	木戸信子(高知精華会)	石原莞爾	昭和 年 月 日	数量 1通 内容 教育に就いて 一結婚について 二 莊嚴受胎について 三胎教 四乳児教育 五幼児教育。 記述法 墨書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
23	木畑辰夫書簡【一括】				
23-1	木畑辰夫書簡	木畑辰夫	石原莞爾	昭和23年11月7日	数量 1通 内容 伊達氏の件につき多大の御高配感謝、伊達政之開拓団に入れて頂き度い。 記述法 ペン
23-2	木畑辰夫書簡	木畑辰夫	石原莞爾	昭和23年12月8日	数量 1通 内容 伊達正之氏入團の件。 記述法 ペン 備考 葉書
24	木村嘉久郎書簡【一括】				
24-1	木村嘉久郎書簡	木村嘉久郎	石原莞爾・錦	昭和24年2月8日	数量 1通 内容 農工業化一体実践の反省と実績。 記述法 ペン
24-2	木村嘉久郎書簡	木村嘉久郎	石原莞爾	〔5月1日〕	数量 1通 内容 再度田辺へ来訪。 記述法 ペン 備考 葉書
25	桐谷誠書簡	桐谷誠	石原莞爾	昭和22年10月13日	数量 1通 内容 十勝到着、岡崎氏参りましたか。 記述法 ペン 備考 葉書
26	久保謙爾書簡	久保謙爾	石原莞爾	昭和23年1月8日	数量 1通 内容 但馬地区の近況、精華会脱会・聖書研究会結成。 記述法 ペン
27	小泉菊枝書簡【一括】				
27-1	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年1月27日	数量 1通 内容 手術お見舞い、求道の軌跡。 記述法 ペン
27-2	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年4月3日	数量 1通 内容 武田先生・曹先生と精華会講習会案検討。 記述法 ペン
27-3	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年4月19日	数量 1通 内容 わとう会への疑惑解消。女性史は運動史として書かるべきもの。 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
27-4	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年5月6日	数量 1通 内容 大聖人への異体同心は正しいか。 記述法 ペン
27-5	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年6月24日	数量 1通 内容 京都本能寺株橋先生御講義の件、丸亀精華会に続々新入会員、教学大観読了。 記述法 ペン
27-6	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年8月21日	数量 1通 内容 近況報告・開拓地追い立て。 記述法 墨書
27-7	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年10月10日	数量 1通 内容 曹先生の道場が三島に決定、私どもそこに移動、聖伝の原稿は東京で出版、精華会近況報告。 記述法 ペン
27-8	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年12月2日	数量 1通 内容 三島農場計画挫折。 記述法 ペン
27-9	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和22年12月24日	数量 1通 内容 各地の講習無事終了。 記述法 ペン 備考 葉書
27-10	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年1月2日	数量 1通 内容 山川先生から本尊に関してご指導、クリスト教予言の発展史を野呂さんご研究中。 記述法 ペン
27-11	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年1月26日	数量 1通 内容 講習会、闘争、活動報告、共産党の攻勢。 記述法 ペン 用紙 「真日本」原稿用紙
27-12	小泉菊枝・高千穂精華会書簡	小泉菊枝・高千穂精華会	石原莞爾	昭和23年2月29日	数量 1通 内容 小泉菊枝を迎えた際の寄せ書き。 記述法 墨書 備考 葉書
27-13	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年3月21日	数量 1通 内容 但馬訪問、四月下旬より新しき村のお手つだひ。精華会への風当たり。 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
27-14	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年5月6日	数量 1通 内容 農場で最初の収穫、青年教育のよろこび。 記述法 ペン 備考 葉書
27-15	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年5月29日	数量 1通 内容 王道文化・会報の発行の遅れ、申し訳なさで一杯。 記述法 ペン 備考 封緘葉書
27-16	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年9月3日	数量 1通 内容 上京以来毎日多忙。 記述法 ペン 備考 葉書
27-17	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年11月14日	数量 1通 内容 法華経ものがたり、法華経入門の件、東京精華会動向。 記述法 ペン
27-18	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年12月10日	数量 1通 内容 関西地区協議会に出席、但馬地区の状況、保坂様とは毎晩王道文化相談。 記述法 ペン 用紙 精華会原稿用紙
27-19	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	〔昭和23年〕12月16日	数量 1通 内容 王道文化271号「佐渡始願御本尊」の拙稿について。 記述法 ペン 用紙 満洲帝国協和会「協和運動」原稿用紙
27-20	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和23年12月24日	数量 1通 内容 板垣遺族訪問時の日蓮正宗との法戦。 記述法 ペン
27-21	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和24年1月7日	数量 1通 内容 御法論明後日開始。 記述法 ペン
27-22	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	〔昭和24年カ〕2月11日	数量 1通 内容 御法戦の結果、もう一度法戦をかはす。 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
27-23	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和24年4月1日	数量 1通 内容 昨日無事但馬講習会及び全国協議会終了。 記述法 ペン 備考 葉書
27-24	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	昭和24年4月15日	数量 1通 内容 九州講習会終了報告。御法戦延期。 記述法 ペン 備考 葉書
27-25	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	〔昭和24年〕5月21日	数量 1通 内容 良雄の病気。 記述法 ペン 備考 葉書
27-26	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	石原莞爾	9月30日	数量 1通 内容 精華会解散の件、王道文化は益々おくれ申し訳ありませんがもうすぐ出ます。 記述法 ペン
28	合田秋義書簡【一括】				
28-1	合田秋義書簡	合田秋義	石原莞爾	昭和21年3月20日	数量 1通 内容 昭和20年12月3日主神より神示、8月13日頃世界は人類最終戦争に突入。 記述法 ペン 備考 末尾欠落あり
28-2	合田秋義書簡	合田秋義	石原莞爾	6月15日	数量 1通 内容 拙著「真理全集」序説版七部御送付、有力者への御配布乞う、序文依頼。 記述法 ペン 備考 葉書
28-3	合田秋義書簡	合田秋義	石原莞爾	6月15日	数量 1通 内容 著書への序文依頼。 記述法 ペン 備考 葉書
29	河野信書簡【一括】				
29-1	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和22年6月15日	数量 1通 内容 水野孝先生方で第三回の東京精華会例会。 付属資料 河野きよ書簡（石原莞爾・錦宛、〔昭和22年〕6月16日）、1通 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
29-2	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和22年9月3日	数量 1通 内容 転居通知、国民党北総支部にお世話になった。 記述法 ペン 備考 葉書
29-3	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和22年10月17日	数量 1通 内容 精華会関東地区責任者会開催、曹先生三島農場計画。 記述法 ペン 備考 葉書
29-4	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和22年10月18日	数量 1通 内容 故涌山先生一周忌、田中車一郎から国柱会についての反省の弁。 記述法 鉛筆 備考 葉書
29-5	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和22年12月9日	数量 1通 内容 清孝様御入場により農場も一段と活気。教育こそ最も重要なもの。 記述法 ペン 用紙 河野用箋
29-6	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和23年1月21日	数量 1通 内容 石原修様お迎えして東京精華会益々活発。水野先生毎回御出席。 記述法 ペン 備考 葉書
29-7	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和23年5月20日	数量 1通 内容 御伝記十五部感謝、わとう村の建設。 記述法 ペン 備考 葉書
29-8	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和23年8月3日	数量 1通 内容 精華会の宗教法人届け出、国柱会、精華会、妙宗連盟の共同戦線は時間の問題。 記述法 ペン
29-9	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和23年9月4日	数量 1通 内容 簡素生活に日々感謝。 記述法 ペン 備考 葉書
29-10	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和23年10月30日	数量 1通 内容 学校遠足、教育革新論基準に学校発展、将来学校工場を経営。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
29-11	河野信書簡	河野信	石原莞爾	昭和23年11月13日	数量 1通 内容 三年の担任教官となる、女子青年団より英語の講習の依頼。 記述法 ペン 備考 葉書
29-12	河野信書簡	河野信	石原莞爾	9月17日	数量 1通 内容 台風やっと切り抜けた。 記述法 ペン 備考 葉書
30	小谷忍書簡	小谷忍	石原莞爾	18日	数量 1通 内容 去る三日無事帰還、来月中旬迄には是非参上。 記述法 ペン 備考 葉書
31	佐藤勝治書簡	佐藤勝治	石原莞爾	昭和23年10月23日	数量 1通 内容 日蓮主義はマルクス主義を包摂すべき、日蓮主義は「皇室」に君権を認むべきではない。 記述法 ペン
32	佐藤秀雄書簡	佐藤秀雄	石原莞爾	昭和22年10月20日	数量 1通 内容 山川先生日蓮聖人伝入手。 記述法 ペン 備考 葉書
33	佐藤義朗書簡【一括】				
33-1	佐藤義朗書簡	佐藤義朗	石原莞爾	昭和23年元旦	数量 1通 内容 石原閣下の六拾歳を壽ぐ 付属資料 【南無妙法蓮華經60行】 (佐藤義朗、皇紀2608年元旦、墨書)、1枚 記述法 墨書
33-2	佐藤義朗書簡	佐藤義朗	石原莞爾	昭和23年9月24日	数量 1通 内容 精華会運動に一生を捧げることを約束、来月一三日の件杉沼さん参上予定。 記述法 墨書
33-3	佐藤義朗書簡	佐藤義朗	石原莞爾	昭和24年3月18日	数量 1通 内容 県庁公務の傍、村づくり運動の基として真農会運動、青年団運動に邁進。 記述法 ペン
34	里見岸雄書簡【一括】				

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
34-1	里見岸雄書簡	里見岸雄	石原莞爾	昭和24年3月9日	数量 1通 内容 訪問日時変更、貴地訪問は十六七日頃、山形又は米澤は二十六七日頃。 記述法 ペン 備考 葉書
34-2	里見岸雄書簡	里見岸雄	石原莞爾	昭和24年3月17日	数量 1通 内容 貴居訪問希望、山形・米澤近辺で私の講演斡旋の労をおとり下されば幸甚。 記述法 ペン 用紙 里見日本文化学研究所原稿用紙
34-3	里見岸雄書簡	里見岸雄	石原莞爾	昭和24年5月27日	数量 1通 内容 お蔭で山形講演会は非常な盛会。 記述法 ペン 備考 葉書
35	杉沼三郎書簡【一括】				
35-1	杉沼三郎書簡	杉沼三郎	石原莞爾	昭和23年5月23日	数量 1通 内容 大場君入信予定、アンゴラ飼育予定、8月全国大会迄に50名獲得予定。 記述法 ペン 用紙 山形交通株式会社野紙
35-2	杉沼三郎書簡	杉沼三郎	石原莞爾	〔昭和23年カ〕8月5日	数量 1通 内容 当精華会7月報告に基づき情報版作成、御教示・御批判乞う。 記述法 ペン
36	鈴木潔書簡	鈴木潔	石原莞爾	昭和22年11月29日	数量 1通 内容 合田先生近況、大真理建設の日待つ。 記述法 墨書 用紙 愛媛県宇摩郡小富士青年学校封筒
37	鈴木重兵衛書簡	鈴木重兵衛	石原莞爾	昭和22年10月3日	数量 1通 内容 水害に付御芳簡恐縮、水害状況報告。 記述法 ペン
38	千田健午書簡	千田健午	石原莞爾	昭和24年	数量 1通 内容 本門戒壇建立近し。 記述法 ペン 用紙 東亜聯盟同志会野紙
39	曹寧柱・武田邦太郎・小泉菊枝書簡【一括】				

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
39-1	曹寧柱・武田邦太郎・小泉菊枝書簡	曹寧柱・武田邦太郎・〔小泉菊枝カ〕	石原莞爾	〔昭和22年〕3月28日	数量 1通 内容 関西各地精華会発足活発。 記述法 ペン 備考 葉書
39-2	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	昭和22年7月21日	数量 1通 内容 小泉先生一家の立退き命令、御遺文出版難航。 記述法 ペン 用紙 東亜海運便箋
39-3	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	〔昭和22年〕8月23日	数量 1通 内容 関東地区第二回協議会、小泉先生住居の件。 記述法 ペン 用紙 陸軍野紙
39-4	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	昭和23年1月7日	数量 1通 内容 農地入手の交渉中、御遺文鈔は紙配給委員会と交渉中、元東京精華会会員宮城参拝、人造石瓦工場は電気難・資材難。 記述法 ペン 用紙 国際日日新聞社野紙
39-5	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	昭和23年10月27日	数量 1通 内容 官庁の迫害、武蔵境の旧明治牧場に契約成立。 記述法 ペン 備考 葉書
39-6	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	〔昭和23年カ〕11月15日	数量 1通 内容 武蔵境旧明治牧場は共産党勢力の温床。 記述法 ペン
39-7	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	昭和23年12月25日	数量 1通 内容 板垣閣下の留守宅訪問。日蓮正宗派の人と本尊問題で後日論争の約束。 記述法 ペン
39-8	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	昭和24年4月5日	数量 1通 内容 但馬指導者講習会無事終了、在日朝鮮居留民団の全国大会が京都で開催、民衆大会が大阪で開催。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
39-9	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	昭和24年7月18日	数量 1通 内容 マッカーサー宛の手紙、朝日新聞社の人に英譯を依頼。 記述法 ペン 備考 葉書
39-10	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	昭和24年8月1日	数量 1通 内容 m宛書簡翻訳の件。 記述法 ペン 備考 葉書
39-11	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	4月2日	数量 1通 内容 御遺文類別について小泉先生と意見交換、石原閣下に対する虚偽と捏造のデマ。 記述法 ペン
39-12	曹寧柱書簡	曹寧柱	石原莞爾	10月12日	数量 1通 内容 精華会関東地区協議会開催、御遺文出版の件、小泉先生の初心者のための文も出版致し度い。 記述法 ペン 備考 封筒に託佐藤茂君との書き入れあり
40	高木清寿書簡【一括】				
40-1	高木清寿書簡	高木清寿	石原莞爾	昭和22年12月1日	数量 1通 内容 野菜の優秀品種の確保に努力、多田さんの治療。 記述法 墨書
40-2	高木清寿書簡	高木清寿	石原莞爾	昭和23年11月19日	数量 1通 内容 椎茸栽培、靈動治療。 付属資料 〔椎茸共同栽培案 農村工家建設資金の下準備として〕（謄写）、1枚 記述法 墨書
40-3	高木清寿書簡	高木清寿	石原莞爾	〔昭和24年〕2月11日	数量 1通 内容 還暦祝い、椎茸原木購入、無料治療強いられ私個人の生活は没落。 付属資料 高木壽子書簡（石原莞爾宛、〔昭和24年〕2月11日、鉛筆、満洲帝国慶祝委員会野紙）、2枚 記述法 鉛筆 用紙 日本紀元二千六百年満洲帝国慶祝委員会事務局野紙
41	高島彌書簡【一括】				

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
41-1	高島彌書簡	高島彌	石原莞爾	昭和22年10月9日	数量 1通 内容 新らしき村の建設、小泉先生の住居探し。 記述法 ペン 用紙 精華会原稿用紙・高島電機工作所封筒
41-2	高島彌書簡	高島彌	石原莞爾	昭和22年10月16日	数量 1通 内容 最終戦論を説きひろめる必要、会報第五号送付。 付属資料 『精華会会報』5号（昭和22年10月15日）、1部（同文2部） 記述法 ペン 用紙 精華会原稿用紙・高島電機工作所封筒
41-3	高島彌書簡	高島彌	石原莞爾	昭和22年12月1日	数量 1通 内容 奈良精華会はまだ空しい日々、八一モ二力独奏会開催。 付属資料 『精華会会報』6号（昭和22年11月20日、謄写）、1部 記述法 ペン 用紙 宮前酒造場便箋
41-4	高島彌書簡	高島彌	石原莞爾	昭和23年3月3日	数量 1通 内容 一日も早く村造りに役立つ電気技術者たらんことを念願。 記述法 ペン 備考 葉書
42	高橋正治書簡	高橋正治	石原莞爾	8月20日	数量 1通 内容 小生結婚式ご祝電感謝、曹先生を迎えてマルクス主義批判講義。 記述法 ペン
43	武田邦太郎書簡【一括】				
43-1	武田邦太郎書簡	武田邦太郎	石原莞爾	昭和22年9月1日	数量 1通 内容 曹先生出版金策中。東京の葡萄糖工場を視察予定。 記述法 ペン 備考 葉書
43-2	武田邦太郎書簡	武田邦太郎	石原莞爾	昭和22年9月1日	数量 1通 内容 池本農場近況、鹿児島への日程くりつかず。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
43-3	武田邦太郎書簡	武田邦太郎	石原莞爾	昭和22年9月1日	数量 1通 内容 小泉先生から大阪で会いたいとのお便り、眞日本社からたびたび電報や速達、閣下は到底かけないと返事。 記述法 ペン 備考 葉書
44	出口安蔵・中村富太郎書簡	出口安蔵・中村富太郎	石原莞爾	昭和23年12月28日	数量 1通 内容 日本観音教団に入団、太陽精華会として独立宣言。 記述法 墨書
45	富樫博書簡	富樫博	石原莞爾・西山農場生一同	昭和24年1月21日	数量 1通 内容 六十一才の春祝賀、鶴岡精華会の誕生日記念に武田先生の宗教講演会開催。 記述法 ペン 備考 葉書
46	中山忠直書簡【一括】				
46-1	中山忠直書簡	中山忠直	石原莞爾	昭和24年4月13日	数量 1通 内容 「天孫民族源流考」・満江岩著「ナイルの流れ」の紹介。 記述法 ペン 備考 葉書
46-2	中山忠直書簡	中山忠直	石原莞爾	昭和24年4月20日	数量 1通 内容 文筆追放解除のための証明書作成依頼。 記述法 ペン 用紙 天照道研究会封筒
46-3	中山忠直書簡	中山忠直	石原莞爾	昭和24年	数量 1通 内容 文筆追放特赦訴願文は貴台の証明書を待つばかり、至急送付願う。 記述法 ペン 備考 葉書
46-4	中山忠直書簡	中山忠直	石原莞爾	昭和24年5月24日	数量 1通 内容 証明書礼状。ボクは死んだら蓮見博士に解剖してもらおう約束。 記述法 墨書 備考 葉書
47	名木橋策書簡	名木橋策	石原莞爾	8月29日	数量 1通 内容 名木橋文弥所蔵書籍の処分。 記述法 鉛筆 用紙 名古屋帝国大学罫紙

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
48	日東精華会書簡	日東精華会	石原莞爾	昭和24年4月13日	数量 1通 内容 西善太郎大兄永眠。 記述法 ペン 備考 葉書
49	野呂欽一書簡【一括】				
49-1	野呂欽一書簡	野呂欽一	石原莞爾	昭和22年6月24日	数量 1通 内容 巣鴨学園奉職。酒田の出張審問のニュース映画で閣下の御姿拜す。 記述法 墨書
49-2	野呂欽一書簡	野呂欽一	石原莞爾	昭和24年3月5日	数量 1通 内容 「宗教と科学」について執筆中。 記述法 墨書
49-3	野呂欽一書簡	野呂欽一	石原莞爾	9月12日	数量 1通 内容 巣鴨学園では不調。日蓮主義のほうがキリスト教よりも民主主義として徹底、これをマッカーサーに知らせる必要あり。 記述法 墨書
50	蓮見喜一郎書簡	蓮見喜一郎	石原莞爾・西山農場御一同	昭和24年元旦	数量 1通 内容 謹賀新年。 記述法 墨書 備考 葉書
51	畠山悦子書簡	畠山悦子	石原莞爾	6月7日	数量 1通 内容 過日御教示感謝、精華会活動に対する覚悟。 記述法 ペン
52	林田精華会員一同書簡	林田精華会員一同	石原莞爾	昭和23年2月16日	数量 1通 内容 精華会活動への決意、農村人を如何に没落前夜より救うべきか。 付属資料 林田精華会寄せ書き（林田精華会、墨書）、1枚 記述法 墨書
53	久松慶暉書簡【一括】				
53-1	久松慶暉書簡	久松慶暉	石原莞爾	〔昭和23年〕9月7日	数量 1通 内容 伊地知政恵・清孝に面会、慈愛不軽の行こそ異体同心の最も重要な要素。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
53-2	久松慶暉書簡	久松慶暉	石原莞爾	2月1日	数量 1通 内容 国柱会の精華会批判。 記述法 ペン
53-3	久松慶暉書簡	久松慶暉	石原莞爾	26日	数量 1通 内容 精進重ねる覚悟。 記述法 ペン 備考 葉書
54	平澤光人書簡	平澤光人	石原莞爾	昭和23年2月21日	数量 1通 内容 病気見舞い、名古屋の同志達四分五散。 記述法 ペン 備考 葉書
55	廣川保書簡	廣川保	石原莞爾	〔昭和22年カ〕 3月14日	数量 1通 内容 普及会で野沢正一君報告。 記述法 墨書・ペン 備考 葉書
56	北総精華会書簡	北総精華会	石原莞爾	2月16日	数量 1通 内容 北総精華会誕生報告、同志寄せ書き。 記述法 ペン 備考 葉書
57	本間昭之助書簡	本間昭之助	石原莞爾	4月16日	数量 1通 内容 大学進学への決意。 記述法 ペン
58	丸川順助書簡	丸川順助	石原莞爾	9月11日	数量 1通 内容 三浦肆玖楼東京農業大学教授提唱の稲の粗放栽培法。 記述法 墨書
59	水野静代書簡	水野静代	石原莞爾	〔昭和24年〕 2月13日	数量 1通 内容 王文誌上に掲載予定の敗戦の原因について、御批判賜わり度い。 記述法 ペン
60	三井清書簡	三井清	石原莞爾	昭和23年9月5日	数量 1通 内容 西式生活、西医学の勧め。 付属資料 〔王道文化運動新らしき會員のために!! 字義による王道文化図解早わかり〕 (三井清、ペン)、1枚 記述法 ペン
61	宮城県内精華会協議会書簡	宮城県内精華会協議会	石原莞爾	昭和24年2月16日	数量 1通 内容 小野勝誠・了誠等18名寄せ書き。鮎川精華会の運動実績は沈滞。 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
62	向林喜久造書簡	向林喜久造	石原莞爾	12月14日	数量 1通 内容 共進会で入賞したホームスパンの襟巻謹呈。 記述法 墨書
63	茂木久榮書簡	茂木久榮	石原莞爾	昭和22年3月12日	数量 1通 内容 酵素法に関する研究を此度脱稿、御一読賜り度い。 付属資料 (1)昭和二十一年番縣南支部実収高調査報告書〔茂木久榮〕、謄写)、1綴(3枚)／(2)昭和二十二年二月二十八日酵素農法眞髓の一部 酵素農法と炭素の肥糧学的効果に関する研究(秋田縣増産研究組合長茂木久榮、謄写)、1綴(24枚)／(3)昭和二十二年二月二十八日 酵素農法眞髓の一部 酵素法に関する研究(秋田縣増産研究所組合長茂木久榮、謄写)、1綴(27枚) 記述法 謄写
64	森田孝書簡	森田孝(奥佐津精華会)	石原莞爾	7月3日	数量 1通 内容 聖史劇上演の報告。 付属資料 〔歴史劇佐渡ならびに尺八・琴・三絃の合奏大会 記念写真〕、3枚 記述法 ペン
65	山形精華会書簡	山形精華会	石原莞爾	昭和24年5月27日	数量 1通 内容 里見先生の国体科学講演会盛会。 記述法 ペン
66	山口美登里書簡	山口美登里	石原莞爾	昭和24年1月3日	数量 1通 内容 大石寺派との対決に臨む決意。 記述法 ペン
67	吉住菊治書簡	吉住菊治	石原莞爾	10月28日	数量 1通 内容 東富士に農工一体の理想郷。 記述法 ペン 用紙 国産電機株式会社統計用紙
武田邦太郎宛書簡					
68	太田照彦書簡	太田照彦	武田邦太郎	昭和24年5月14日	数量 1通 内容 桐谷兄に御託しの文書拝読、理解出来ず、英訳困難。 記述法 鉛筆 用紙 東京朝日新聞東京本社封筒 備考 高橋大兄に託すとの書き込みあり
69	小野勝誠書簡	小野勝誠(黒崎農場)	武田邦太郎	昭和23年3月13日	数量 1通 内容 芝居開演の折、祝儀辞退について、御明断乞う。 記述法 謄写

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
70	小泉菊枝書簡【一括】				
70-1	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	武田邦太郎	昭和22年9月13日	数量 1通 内容 原稿への御高見求む、大先生閣下伊地知先生方の教僞の有無等。 記述法 ペン 備考 葉書
70-2	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	武田邦太郎	昭和24年5月23日	数量 1通 内容 容態について蓮見の見解、今月一杯で西山へ帰る。 記述法 ペン 用紙 満洲帝国協和会「協和運動」原稿用紙
70-3	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	武田邦太郎	〔昭和24年7日〕	数量 1通 内容 御法論を明後日に控え、北條夫人の件。 記述法 ペン 備考 葉書
70-4	小泉菊枝書簡	小泉菊枝	武田邦太郎	〔昭和24年27日〕	数量 1通 内容 御法論の事勝利にまでいけず。 記述法 ペン
71	菅沢昌子書簡	菅沢昌子（鶴岡精華会）	武田邦太郎	〔昭和23年カ〕	数量 1通 内容 鶴岡精華会会員名簿送付。 付属資料 (1)鶴岡精華会々員名簿（ペン）、2枚／(2)月例会参加者名簿（10月13日、鶴林会、墨書・ペン）、2枚／(3)鶴岡精華会昭和24年度計画〔1研究目標及方法2鶴岡精華会事業（会員獲得目標及方法）23年度会計及資金問題（ペン）、1綴（2枚）／(4)聖地巡拜順位表（昭和23年10月16日）、1枚／(5)写真、2枚〔婚礼記念〕 記述法 ペン
72	精華会中央事務所書簡	精華会中央事務所	武田邦太郎	昭和24年6月8日	内容 国柱会青年部宛書簡の写し。王道文化第274号「日蓮教と日本国」は曹個人の見解。
73	杉沼三郎書簡	杉沼三郎	武田邦太郎	昭和22年12月16日	数量 1通 内容 大阪にて多田政一先生の講習受講。 記述法 ペン 用紙 山形交通株式会社野紙
74	曹寧柱書簡【一括】				

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
74-1	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	〔昭和23年〕8月28日	数量 1通 内容 法務庁調査課長の精華会に対する見解 記述法 ペン
74-2	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年9月3日	数量 1通 内容 法務庁調査課長との第二回交渉内容。 記述法 ペン
74-3	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年11月15日	数量 1通 内容 精華会に対する法務庁呼び出し、回答の内容。 記述法 ペン 備考 葉書
74-4	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年11月15日	数量 1通 内容 誓約書提出、文案。 記述法 ペン 備考 葉書
74-5	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年11月15日	数量 1通 内容 法務庁調査課への出頭要請、会見。 記述法 ペン 備考 葉書
74-6	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年11月18日	数量 1通 内容 17日田中先生十回忌終了。田中芳谷総裁が山川先生を痛罵。 記述法 ペン 備考 葉書
74-7	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年12月6日	数量 1通 内容 東京裁判受刑者家族の留守宅。 記述法 ペン 備考 葉書
74-8	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年12月19日	数量 1通 内容 板垣閣下の留守宅訪問。 記述法 ペン 備考 葉書
74-9	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎	昭和23年12月25日	数量 1通 内容 23日板垣閣下宅訪問。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
74-10	曹寧柱書簡	曹寧柱	武田邦太郎・ 小泉菊枝	昭和24年7月1 8日	数量 1通 内容 マッカーサー宛の手紙は朝日新聞社人に翻訳依頼。 記述法 ペン 備考 葉書
75	南部襄吉書簡	南部襄吉	武田邦太郎	〔昭和23年10 月カ〕	数量 1通 内容 石原の訪問感謝、御約束の果樹の整枝、剪定について取急ぎ送付。 付属資料 果樹整枝及剪定概要（南部襄吉、ペン、梨・柿・桃について）、3枚 記述法 ペン
76	野呂欽一書簡	野呂欽一	武田邦太郎	10月23日	数量 1通 内容 知人が天理教に入信。 記述法 墨書
77	淵上辰雄書簡【一括】				
77-1	淵上辰雄書簡	淵上辰雄	武田邦太郎	昭和24年7月2 9日	数量 1通 内容 翻訳は朝日新聞に依頼、相当苦心。翻訳原文が三十日には出来る。 記述法 ペン 備考 葉書
77-2	淵上辰雄書簡	淵上辰雄	武田邦太郎	昭和24年7月2 9日	数量 1通 内容 m宛書簡翻訳の件。 記述法 ペン 備考 葉書
77-3	淵上辰雄書簡	淵上辰雄	武田邦太郎	昭和24年7月2 9日	数量 1通 内容 確実に手紙を渡す方法を発見して目的実現、東久邇様に面会。 記述法 ペン 備考 葉書
77-4	淵上辰雄書簡	淵上辰雄	武田邦太郎	昭和24年7月3 0日	数量 1通 内容 閣下御立腹のよし、太田氏より翻訳案文本日出来るとの報。 記述法 ペン 備考 葉書
77-5	淵上辰雄書簡	淵上辰雄	武田邦太郎	〔昭和24年 カ〕8月3日	数量 1通 内容 使者派遣の可能性よく解らない、宋徳和氏の返事本日もなし。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
78	眞山元輔書簡	眞山元輔	武田邦太郎	昭和23年9月13日	<p>数量 1通</p> <p>内容 言行録にかんする計画書見て置いて下されば幸甚、精華会解散問題。</p> <p>付属資料 (1)和田書簡(眞山仁宛、〔眞山による写カ〕、ペン)、1通／(2)〔計画書 言行録完成までの手順、原稿編纂要領、右に要する経費の予算、宮城県内割当額並に納入額〕(9月2日、謄写)、1枚</p> <p>記述法 ペン</p> <p>用紙 蛇田村生活共同組合野紙</p>
79	水野孝書簡	水野孝	武田邦太郎・曹寧柱	昭和23年12月1日	<p>数量 1通</p> <p>内容 小生とI氏との問答顛末。旧TR会員と精華会の関係。</p> <p>記述法 ペン</p> <p>用紙 水野外科病院用箋</p>
80	森重武彦書簡	森重武彦	武田邦太郎	〔昭和24年8月カ〕	<p>数量 1通</p> <p>内容 石原長逝弔意、石原遺稿集の件賛成。</p> <p>記述法 墨書</p>
その他書簡					
81	石原莞爾書簡	石原莞爾	芦田均	8月27日	<p>数量 1通</p> <p>内容 ポツダム宣言勅令101号の精神、精華会解散反対理由、信仰の自由の重要性。</p> <p>記述法 謄写カ</p>
82	〔差出人不明書簡〕		小泉菊枝	4月27日	<p>数量 1通</p> <p>内容 曹先生の講習受け自信獲得。弘前の帰路石巻来訪依頼。</p> <p>記述法 ペン</p> <p>用紙 蛇田村生活共同組合野紙</p>
83	山口美登里書簡	〔山口美登里〕	河野信	昭和22年5月10日	<p>数量 1通</p> <p>内容 わとつ会よりの再度の御返事同封のお便り感謝。関東地区の運動如何。</p> <p>記述法 ペン</p>
84	飯田正躬書簡	飯田正躬	精華会東北連絡事務所	昭和23年11月7日	<p>数量 1通</p> <p>内容 佐渡詣での件、東総精華会からは3名出席</p> <p>記述法 ペン</p> <p>備考 葉書</p>

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
85	家永三郎書簡	家永三郎	精華会中央事務所	昭和24年2月22日	数量 1通 内容 拙稿に対する批判掲載の王道文化第272号御恵贈感謝、信者の御立場としてはかく論ぜられざるを得ざるものと拝察。 記述法 ペン
86	小野寺茂雄書簡	小野寺茂雄	精華会東北連絡事務所		数量 1通 内容 佐度巡拝行き兼ねる事に。 記述法 ペン 備考 葉書
87	川元照雄・知慧書簡	川元照雄・知慧	精華会東北連絡事務所	昭和23年11月26日	数量 1通 内容 結婚・転居報告。 記述法 謄写 備考 葉書
88	精華会中央事務所書簡	精華会中央事務所	精華会東北連絡事務所	昭和24年4月17日	数量 1通 内容 東北精華会入会状況表・王道文化未拂金額表。 記述法 ペン 備考 葉書
89	保坂書簡	保坂	喜寧柱	9月25日	数量 1通 内容 法務庁では特審局長と総裁に面会、精華会解散の件。 記述法 鉛筆
90	熱塩精華会書簡【一括】				
90-1	熱塩精華会書簡	熱塩精華会	西山精華会	昭和23年11月8日	数量 1枚 内容 佐渡訪問の件、熱塩精華会からの出席人員3名 記述法 ペン 備考 葉書
90-2	熱塩精華会書簡	熱塩精華会	西山精華会	昭和24年2月7日	数量 1通 内容 年賀状 寄せ書き、我等のゴールは皆帰妙法。 記述法 ペン 備考 葉書
91	鮎川精華会書簡	鮎川精華会	西山精華会	昭和24年元旦	数量 1通 内容 年賀状、寄せ書き。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
92	石巻精華会書簡	石巻精華会	西山精華会	昭和23年11月19日	数量 1通 内容 11月に県内協議会とともに各地持ち寄りの辻説法開催。 付属資料 精華会宮城縣連絡版 第2号(石巻精華会発行、謄写)、1枚 記述法 ペン
93	板垣喜久子書簡	板垣喜久子	西山精華会	〔昭和24年〕1月7日	数量 1通 内容 主人征四郎受刑に際し、御回向感謝。 記述法 墨書
94	佐藤やよめ書簡	佐藤やよめ	西山精華会	〔昭和24年8月〕	数量 1通 内容 石原閣下御永眠感慨無量。二十五日の告別式には藤島より三人参列。 記述法 墨書
95	東京精華会書簡	東京精華会	西山精華会	昭和23年1月1日	数量 1通 内容 年賀状。 記述法 ペン 備考 葉書
96	土肥原實書簡	土肥原實	西山精華会	昭和24年1月12日	数量 1枚 内容 父賢二への弔意感激至極。 記述法 活版 備考 葉書
97	阪神精華会同志一同書簡	阪神精華会同志一同	西山精華会	昭和24年1月9日	数量 1通 内容 年賀状、会員寄せ書き。 記述法 ペン 備考 葉書
98	平岡仁啓書簡	平岡仁啓(黒崎農場)	西山精華会	昭和23年10月29日	数量 1通 内容 結婚祝感謝。 記述法 ペン 備考 葉書
99	廣田遺族一同書簡	廣田遺族一同	西山精華会	昭和23年12月	数量 1通 内容 父への弔詞への礼状。 記述法 墨書
100	松井文子書簡	松井文子	西山精華会	〔昭和24年1月〕	数量 1通 内容 お悔み感謝。 記述法 ペン 備考 葉書
101	武藤初子・武藤千代子書簡	武藤初子・武藤千代子	西山精華会	昭和24年2月9日	数量 1通 内容 武藤章死去の節は御弔感謝。 記述法 活版 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
102	本吉精華会書簡	本吉精華会	西山精華会	昭和24年1月30日	数量 1通 内容 元旦挨拶。 記述法 ペン 備考 葉書
103	夜久野ヶ原新しき村精華会書簡	夜久野ヶ原新しき村精華会	西山精華会	昭和23年11月12日	数量 1通 内容 佐渡巡拜には中島正雄、北村治良の二名が参加。 記述法 ペン 備考 葉書
104	山形精華会一同書簡	山形精華会一同	西山精華会	昭和24年1月4日	数量 1通 内容 元旦挨拶、寄せ書き。 記述法 ペン 備考 葉書
105	稲垣志行書簡【一括】				
105-1	稲垣志行書簡	稲垣志行	西山農場桐組	昭和23年9月17日	数量 1通 内容 黒崎農場は素晴らしい環境。 記述法 ペン 備考 葉書
105-2	稲垣志行書簡	稲垣志行	西山農場松組	昭和23年9月17日	数量 1通 内容 黒崎農場は恵まれた環境。 記述法 ペン 備考 葉書
106	尾形秀男書簡	尾形秀男	西山農場	昭和24年1月5日	数量 1通 内容 最早西山に帰り、元の仲間同志として入る事を断念。 記述法 ペン
107	黒崎農場書簡【一括】				
107-1	黒崎農場書簡	黒崎農場	西山農場	昭和23年元旦	数量 1通 内容 黒崎農場年賀寄せ書き。 記述法 墨書
107-2	黒崎農場書簡	黒崎農場	西山農場	昭和23年11月9日	数量 1通 内容 黒崎入植三周年記念の催案内。 記述法 謄写
108	菅寧柱書簡【一括】				
108-1	菅寧柱書簡	菅寧柱	西山農場同志	昭和24年3月6日	数量 1通 内容 伊地知様宅の精華会初心者講習会にて講義。 記述法 ペン 備考 葉書

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
108-2	曹寧柱書簡	曹寧柱	西山農場同志	〔昭和24年〕5月1日	数量 1通 内容 挨拶状。 記述法 ペン 備考 葉書
109	持田晴信書簡	持田晴信	西山農場	1月9日	数量 1通 内容 謹賀新年。 記述法 墨書 備考 葉書
110	和田勁書簡	和田勁	西山農場	昭和24年1月12日	数量 1通 内容 年賀挨拶。 記述法 ペン 備考 葉書
111	山口美登里書簡	山口美登里	わとう会	昭和22年5月10日	数量 1通 内容 御返事感激感謝、過去の私の謗法を懺悔、異体同心の本流に飛び込む覚悟。 付属資料 山口美登里書簡（河野信宛、昭和22年5月10日、わとう会よりの再度の御返事を同封のお便り感謝、関東地区の運動如何、水野様の具合いかがか）、1通 記述法 ペン
書簡草稿					
112	石原莞爾書簡	石原莞爾	高山（総務部長）	9月3日	数量 1通 内容 松浦宗教調査課長御派遣感銘、鶴岡診療所問題に関する事情。 記述法 ペン
113	石原莞爾書簡	石原莞爾	中山忠直	8月15日	数量 1通 内容 中山忠直氏の思想並に人格に関する証明書〔草稿〕 付属資料 「中山忠直氏の思想並に人格に関する証明書」 草稿 ペン 2枚 記述法 謄写
114	武田邦太郎書簡	武田邦太郎	アインシュタイン	昭和24年	数量 1通 内容 佛教の宇宙観 付属資料 (1)草稿（書き出し部分の草稿、ペン）、1枚／(2)メモ（ペン）、1枚 記述法 謄写 備考 武田によるペン字書き入れあり
宛先不明書簡					

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
115	持田脩書簡	持田脩		昭和23年12月26日	数量 1通 内容 死 記述法 血書 備考 ハンカチカ
116	三十一男書簡	三十一男		昭和 年 月 日	数量 1通 内容 生レカハリマス 記述法 血書
書類の部					
新日本の進路					
117	〔新日本の進路（草稿）〕	石原莞爾	マッカーサー	〔昭和24年7月〕	数量 10枚 記述法 ペン
118	〔新日本の進路・全体主義に対する混迷を明かにす・統制主義の用語について（草稿）〕	石原莞爾		〔昭和24年7月〕	数量 18枚 付属資料 (1)東京芝浦電気株式会社府中工場封筒（西山産業株式会社宛、昭和24年7月10日）、1枚／(2)〔石原閣下遺言10000部 受注票〕 記述法 謄写 備考 石原によるペン字書き入れあり
119	〔新日本の進路 送付状（草稿）〕	石原莞爾草稿	マッカーサー	昭和24年7月	数量 2枚 記述法 謄写 備考 石原によるペン字書き入れあり
120	〔新日本の進路送付状（草稿和訳文）〕	神保信彦		〔昭和24年〕7月25日	数量 1枚 付属資料 神保信彦書簡 武田邦太郎宛〔昭和24年〕8月11日 鉛筆 2枚。 記述法 鉛筆
121	THE RIGHT WAY TO DIRECT NEW JAPAN 送付状〔控〕	神保信彦	Willoughby, Charles, A	昭和24年8月	数量 1枚 付属資料 メモ（神保信彦、石原莞爾宛、手許控えとしての保管依頼、鉛筆）、1枚 記述法 タイプ
122	THE RIGHT WAY TO DIRECT NEW JAPAN 送付状〔控〕	神保信彦	Whitney, Courtney	昭和24年8月	数量 1枚 記述法 タイプ
123	THE RIGHT WAY TO DIRECT NEW JAPAN 送付状〔控〕	石原莞爾	MacArthur, Douglas	昭和24年8月	数量 1枚 記述法 タイプ
124	THE RIGHT WAY TO DIRECT NEW JAPAN 〔控〕	石原莞爾			数量 1綴（6枚）+1枚 記述法 タイプ
精華会・宗教					

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
125	日蓮聖人御遺文 諷誦 五大部大意	古市二郎		昭和14年7月28日	数量 1綴 (16枚) 内容 仰御清鑑 日蓮聖人御遺文 諷誦 五大部大意 記述法 墨書 備考 立正安国論大意、開目鈔大意、観心本尊鈔大意、撰時抄大意、報恩抄大意
126	日蓮聖人と日本国體	精華会		昭和21年7月8日	数量 1綴 (15枚) 内容 日蓮聖人と日本国體 付属資料 正誤表 (謄写、昭和21年7月8日)、1枚 記述法 謄写 備考 皇太子殿下に献上し奉るとの表記あり (表紙) 精華会一同「献上の言葉」、小泉菊枝「日蓮聖人の宗教と日本国體」
127	第二回御法戦御報告	〔小泉菊枝〕		〔昭和24年〕	数量 2枚 記述法 ペン
128	宣言	国政浄化国民運動高知県本部			数量 1枚 記述法 謄写
129	檄文・全国民よ起て選べ、無私清新の国会議員を	国政浄化国民運動高知県本部			数量 1枚 記述法 謄写
130	〔精華会主張・創価学会主張の要点〕	〔小泉菊枝〕			数量 4枚 記述法 ペン
131	国会解散を機として立正安国論運動に就いて				数量 1枚 記述法 謄写
132	国会解散を機としての立正安国運動				数量 1枚 内容 目的、具体案、政界浄化国民運動趣意書 記述法 謄写
133	学び児我等と精華会 精華会歌	井田精花 (作詞)			数量 1枚 内容 精華会歌 付属資料 時は近づく (井田精花 作詞、謄写)、1枚 記述法 謄写

法務庁との交渉関係

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
134	昭和二十年勅令第五百四十二号ポツダム宣言の受諾に伴い發する命令に関する件に基く政党、協会、其の他團體の結成の禁止等に関する件				数量 1部 (16頁) 付属資料 曹寧柱封筒 (石原莞爾宛、昭和23年10月8日)、1枚 記述法 活版 合綴注記 134附の封筒内部にあり
135	〔勅令一〇一号第四條解釈に関する府県知事宛特別審査局長通知 (写) 〕			昭和23年9月1日	数量 2枚 記述法 ペン 合綴注記 134附の封筒内部にあり
136	〔法務庁との交渉経緯〕			〔昭和23年カ〕10月5日	数量 3枚 記述法 ペン 合綴注記 134附の封筒内部にあり
137	精華会に関する件	曹寧柱	法務庁調査課長	昭和23年9月13日	数量 4枚 付属資料 英訳したもの (法ム庁の要望に応じて) 記述法 ペン 合綴注記 134附の封筒内部にあり
138	第二回目交渉〔法務庁課長・池田主任検事・曹寧柱間〕			〔昭和23年カ〕8月31日	数量 3枚 記述法 ペン 用紙 陸軍野紙 合綴注記 134附の封筒内部にあり
その他					
139	『世界新聞』第2号 (世界新聞社)			昭和21年12月1日	数量 1部 (全6面) 記述法 活版
140	『世界政府』第2号 (世界政府コンパ出版社)			昭和24年4月3日	数量 1部 記述法 活版
141	武田邦太郎宛電報		武田邦太郎	昭和24年8月5日	数量 1枚 内容 マッカーサー宛書簡翻訳の件 記述法 謄写
142	特殊郵便物受領證	西山精華会		昭和23年12月24日	数量 3枚 内容 郵便物差出人：西山精華会、受取人：土肥原香代・廣田正雄・松井文子・木村可縫・東條勝子・板垣喜久子・武藤初子) 記述法 謄写